

4 航空機騒音度調査の結果

(1) 航空機騒音度調査の結果

今回の航空機騒音度調査の結果、従前の住宅防音工事対象区域（第一種区域）の基となった昭和57年度の評価と比べ

- ・ 1日の標準飛行回数の減少（204回→182回）
- ・ 主力機の機種変更に伴う騒音値の減少（T-33→T-4）

以上の結果等から航空機騒音コンターが縮小となる結果となりました。

(2) 航空機騒音度調査結果の検証

南関東防衛局で実施した航空機騒音度調査結果は、音響の専門家からなる航空機騒音コンターの妥当性を検証する委員会において、その作成過程などを審議していただいた結果、**適切であるとの評価**をいただきました。

委員

委員長 安岡正人（東京大学 名誉教授）

委員 田村明弘（横浜国立大学 名誉教授）

委員 山田一郎（(財)空港環境整備協会
空港環境研究センター所長）